

令和6年6月熊本県議会定例会

農林水産常任委員会報告資料

営農継続に向けた取組みについて

農 林 水 産 部

# 半導体関連企業の集積に係る農林水産部の取組みについて

～ 農業振興と企業進出の両立に向けて～



企業進出等により営農に影響を受ける農家に対し、県・市町村が連携して**農家の営農継続を支援**

### 構成所属

農林水産部内関係所属等  
(農地・担い手支援課、農林水産政策課、畜産課、農村計画課、農地整備課、技術管理課、(公財)農業公社等)

### 概要

(1) **貸借可能な農地の把握および情報共有の仕組みづくり(農地のマッチング)**

- 農地毎の状況(荒廃の有無、周辺道路の幅員等)を調査し、貸借可能な農地を抽出・整理。
- 貸借可能な農地の出し手と受け手の間を取り持つマッチングの仕組みづくりを行う。

(2) **飼料用とうもろこしの収量増加に向けた生産支援**

- 肥培管理(病害虫や雑草対策)の徹底
- 一期作体系から二期作体系へ転換を推進

### 取組状況

営農継続支援チーム会議	2回開催
〃 部会会議	4回開催

### 構成機関

県および地元市町村

(県)  
農地・担い手支援課、農林水産政策課、畜産課、農村計画課、農地整備課、むらづくり課、技術管理課

(市町村)  
菊池市、合志市、大津町、菊陽町、益城町、西原村

### 概要

(1) **県・市町村間での情報共有**

- 県の取組状況や、市町村が把握する農家の現状、要望等について共有。

(2) **新たな対応等に関する提言**

- 現状を受けた新たな対応案について検討、意見交換等を行う。

### 取組状況

県・市町村連絡会議	3回開催
-----------	------

連携

<b>県北広域本部PT 営農継続支援チーム R5.6設置</b>	<b>構成機関</b> 県北広域本部農林水産部関係課、菊池地域市町、JA菊池
	<b>取組状況</b> 営農継続支援チーム会議 3回開催 会議以外の場においても、地元市町村、JA菊池との情報共有等は随時実施

# 営農継続に向けた農地情報共有の仕組み

## 1 【貸借可能な農地の把握】

### 農地毎の状況調査

- ・耕作放棄地の調査、活用可能な農地の掘り起こし
- ・現地調査（荒廃の有無、周辺道路の状況等）等
- ・調査結果のマップ化

DB化

### 利用可能な農地情報 《地図情報(GIS)を活用》

- ・耕作に必要な条件を検討・付与

[対象]

- 令和5年度 菊池地域  
(菊池市、合志市、大津町、菊陽町)
- 令和6年度 周辺地域に拡大  
(山鹿市、阿蘇市( )、西原村、南阿蘇村( )、御船町( )、益城町)
- ( )は一部地域

### 関連事業

### 耕作条件の整備

- ・耕作放棄地の再生
- ・鳥獣害対策
- ・簡易な基盤整備 等

## 2 【マッチング】

### 耕作者の「借りたい土地の条件」(意向調査)

- ・地域、時期、面積 等

耕作者

耕作者

相談 ⇄ 斡旋

相談 ⇄ 斡旋

市の相談窓口

市の相談窓口

DB化

### 利用可能な農地情報 《地図情報(GIS)を活用》

DB化

### 利用可能な農地情報 《地図情報(GIS)を活用》

情報登録

協力(農業公社、JA等関係機関)  
マッチング

情報収集

各市町村内

### 【市町村を跨る情報共有】

### 耕作者の「借りたい土地の条件」

各市町村内で代替農地が見つからなければ市町村を跨った調整

### ニーズ調査

影響を受けた菊池地域の耕作者への営農継続に向けた聞き取り調査を実施

## ○営農継続に向けた農地情報共有（マッチング）の相談状況

（R6.4末現在）

相談件数	影響面積	代替農地で耕作を希望する作物			
58件	84.7ha	飼料用作物 (45件)	ネギ等 (3件)	芝 (2件)	甘藷、人参、大根 (3件)

現在、飼料用作物を耕作するための農地として、約2haの農地をマッチング中。

## ○最近の取組み

### 1. 農地情報共有（マッチング）事業について

- ・対象地域を菊池地域の周辺6市町村へ拡大  
（山鹿市、阿蘇市、西原村、南阿蘇村、御船町、益城町）
- ・4月から拡大市町村との協議を開始。7月下旬から調査開始予定。

### 2. 農家のニーズ調査について

- ・6月から調査を開始。
- ・調査は1班4人（県職員2名、市町職員1名、JA菊池又は酪農組合1名）の計4班集体で調査実施。